

HALL MINAMINAGAREYAMA

2025 02 16

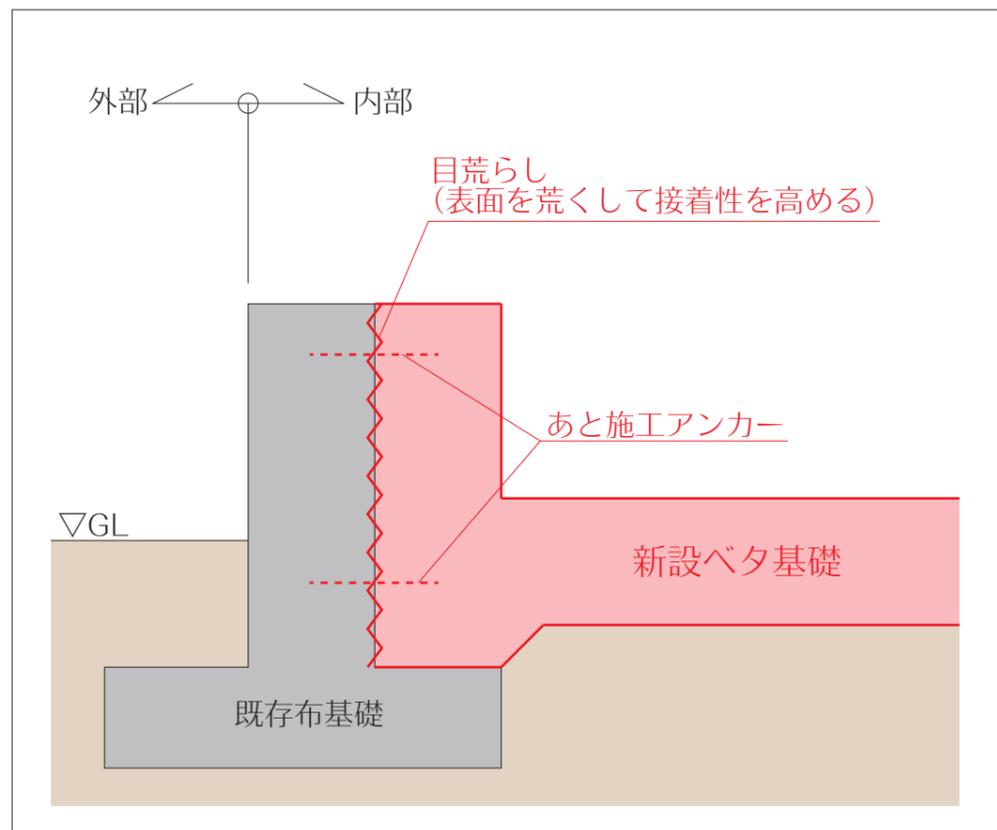
■耐震性について

今回のリノベーション計画により、既存の状態より耐震性が向上します。

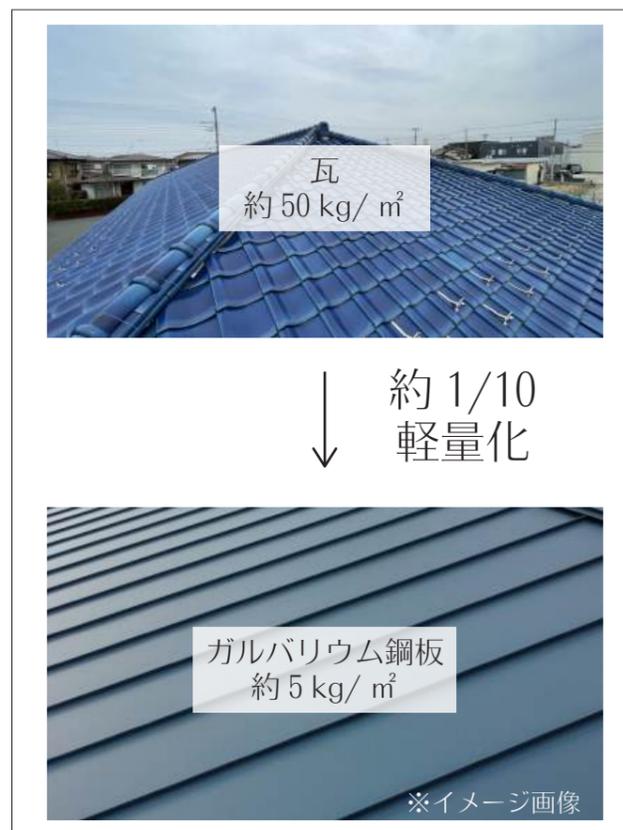
2017年に行った耐震補強により上部構造評点が1.07となり、さらに今回の計画で壁量及び偏心率の是正や以下の基礎補強及び屋根の軽量化を行い、耐震性の向上を図っています。

ただし、上部構造評点を算出するためには耐震診断が必要となり、別途費用（構造設計料+耐震診断料）がかかります。また、一般診断法か精密診断法のどちらにするのかによっても費用は変わります。

基礎補強



屋根の軽量化



■上部構造評点について

上部構造評点とは、想定した地震によって建物に加わる力に対し、その建物が保有している耐力がどれくらいあるかを示した数値となります。

上部構造評点 1.0 以上の建物は、震度 6 強程度の大地震に対して倒壊しない耐力を有し、建物が損傷する可能性はありますが、最低限人命を守ることができる設計です。

評点と震度による被害イメージ

震度 被害	5弱	5強	6弱	6強	7
無被害	1.0 1.3	1.3			
小破	0.4 0.7	1.0	1.3		
中破		0.7	1.0	1.3	
大破		0.4	0.7	0.7 1.0	1.3
倒壊			0.4	0.4	1.0 0.4 0.7

出典：
井戸田秀樹、嶺岡慎悟、梅村恒、森保宏：在来軸組木造住宅における一般耐震診断の評点と損傷度の関係
耐震改修促進のための意思決定支援ツールに関する研究（その1）、
日本建築学会構造系論文集 第612号、pp.125-132、2007年2月

